

7つの生きる力へと繋がる

# からふるな木育

## 木育を通して育つ5つの力

からふるな木育は7つの生きる力と5領域の表現をベースに  
「木」の知識を得て学ぶことがメインではなく  
「こころ」を育てることを目指しています。

- 1 自然のつながりを感じる力を育みます
- 2 ものを大切にする心を育みます
- 3 工夫する力を育みます
- 4 粘り強さ、やる気を育みます
- 5 協力する気持ち、気づかう心を育みます





# 見る・感じる・触れる

木材に触れた時、何とも言えない  
心地よさを感じたことはありませんか？

質感から「温もり」を感じたり「香り」に  
癒された経験はありませんか？

「木育」を難しく捉えず、子どもたちと共に「木」  
の温もりを味わってみませんか？

からふるな木育は「感じる」ことから  
はじまります。

どんな肌触り？

どんな香り？

どんな音？



一緒に積み上げます。  
1歳と2歳児の共同作業。



崩れても大笑い。  
誰も怒りません！！  
また、一緒に積み上げることが  
楽しみなんですね。

何度も、何度も繰り返し  
楽しみ、遊びは続きます。

親子レクリエーションでは  
木片を使って作品作りにチャレンジ。

木の硬さを感じました。  
削った時に感じた「匂い」「肌触り」「音」は  
親子の記憶の中に深く入り込んでいくことでしょう。



身近な人と一緒に「木」に触れることで  
心のふれあいも深まり広がる体験へつながります。



# 感じるままに味わい遊ぶ

「木」や「自然素材」を身近に感じる体験は豊かな心を育みます。

五感を研ぎ澄まし、カタチ・色・匂い・手触りから  
好奇心が引き出されます。

その先に続く、学びや成長の原動力へと繋がリ  
子どもの心は輝きます。

ひとり没頭する自然体験  
発見の喜び、不思議との出会い、  
全身運動はしなやかな身体作りへとつながっています。



木の根っこって  
どこまであるの？



木の枝  
いっぱい落ちてる  
集めてみよう

木のおうちかな？  
誰が住んでるの？



赤い実 ピカピカ ツルツルだよ



何を見つけたの？  
この木、お鍋みたいだね



赤い実、サクランボの赤ちゃんかな？



見て見て！木の根っこ、ここまで続いている！



登っておいで！！

感じたことを互いに伝えあい、楽しさは倍増！！  
イメージを膨らませ、想像力は豊かに！！



# 感じるままに創造する

「木」から様々なカチの素材が生まれることを知り  
創造意欲が引き出されます。

自然素材を活用して何かをつくり出す楽しさや充実感を味わったり  
試行錯誤することでチャレンジしながら粘り強く、逞しい心が育ちます。

自然物コレクション  
私たちの宝箱だね！！

イメージを描きながら  
集めてきたもの

形や色に惹かれて  
集めてきたもの

一人一人の「こだわり」  
が詰まっています。



自分の作品には愛着が湧き、  
作品には「なまえ」をつけて  
大事にしている姿も見かけます。



集めた自然素材で作品の構想を練っています。



枝を道具に見立てて描きます



作品には一人の一人の  
体験や想いが生きています。



お泊り保育では  
みんなで様々な木片を  
削り、木の硬さや匂い、  
カタチを感じながら  
自分だけのフォトフレームを  
作りました。  
仲間との思い出がぎゅっと  
つまんだ素敵な作品でした！



同じ作品は1個もありませんね。

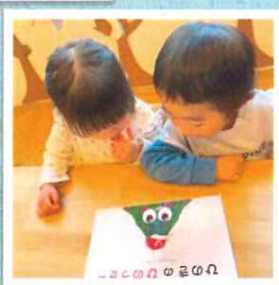


虫が大好きなお友達の作品は  
やっぱり！！これでしょ！！





からふるオリジナルの「木箱」は雨の日は特に  
檜のいい香りがして、癒されます。



からふるオリジナルの「木育えほん」です。  
木のキャラクターは子どもたちに大人気！！

## 木を愛し 木と共に 豊かな心を育てます

入園の際には檜の「木箱」を親子で一緒に作ります。

自分だけの「木箱」。

汚れたらやすりで削って使い続ける「木箱」に愛着が湧いていきます。

からふる保育園で過ごした日々の「思い出」が刻まれ、

卒園の日には、どんな自分色に染まっているでしょうか？

楽しみです。

「からふるな木育」活動を通して味わったことや感じたことが

自分たちの住む日本の自然環境を守ることにつながっていたんだと、

少し大きく成長した子どもたちの心や頭の中で、つながっていくことを願っています。

二酸化炭素の吸収力が高い若い木を育て、役目を終えた木は計画的に伐採され、  
子どもたちのおもちゃや木箱に生まれ変わっています。

自分たちの生活の中の、様々なところで活躍している「木材」に興味を持ち  
興味が広がっていくと嬉しいです。

